

令和8年度

運 営 に 関 す る 計 画

(4月当初)



大阪市立堀川小学校

令和8年4月

現状と課題

本校はこれまで、大阪市教育振興基本計画に掲げられた3つの最重要目標のもと、学校運営を進めてきた。各取組については、学校全体で継続的に振り返りと評価を行い、児童や学校の実態に応じて内容の改善・更新を図ってきた結果、おおむね目標を上回る成果を上げている。

【安全・安心な教育の推進】

いじめアンケートや「心の天気」を活用した児童理解の取組が定着し、児童の心理的变化を早期に把握しやすい体制が整いつつある。また、不登校児童の割合は前年度より低い状況を維持しており、早期支援の効果がみられる。医療的ケアや特別支援に関する研修を継続したことで、教職員間の理解の共有も進んでいる。一方で、あいさつや清掃など基本的な生活習慣については、学年や個人差が見られ、日常場面でのより一層の定着が課題となっている。引き続き、組織的・継続的な指導と声かけを通して、児童一人ひとりが安心して過ごせる学校環境づくりを進めていく必要がある。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

総合的読解力育成カリキュラムや具体物・実験を取り入れた授業により、主体的に学ぶ児童の姿が増えている。授業研究も校内に定着し、育てたい力を意識した授業改善が進んでいる。一方で、学びの質をさらに高めるためには、問いの精選や思考を深める場面の充実が必要である。また、生活習慣については一定の改善が見られるものの、家庭との連携を含めた継続的な指導が引き続き求められる。

【学びを支える教育環境の充実】

学習者用端末の活用が日常化し、調べ学習や発表活動など学びの幅が広がっている。校内研修についても、全教職員が参加しやすい体制を整えたことで、内容の充実が図られている。働き方改革の取組により、一定の業務効率化も進んでいる。一方で、教職員間のICT活用スキルの差や業務量の偏りが課題として残っている。今後は、研修内容の工夫や役割分担の見直しを進め、教職員が協働しながら、児童の学びと生活を支える教育環境のさらなる充実を図る必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を87%以上で維持する。(大阪市目標87%/R7年度実績88.2%)
- 毎学期いじめアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応を徹底することで、いじめ解消率100%を目指す。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善割合※を増加させる。令和11年度末において、前年度不登校児童の改善割合を50%とする。(大阪市目標50%)
- 児童アンケートの「自分にはよいところがある」の項目について、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を88%以上で維持する。(大阪市目標88%/R7年度実績90%)
- 児童アンケートの「いろいろな場面であいさつをしている」の項目について、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を90%以上で維持する。(R7年度実績91%)
- 児童アンケートの「すみずみまできれいになるように、そうじをしている」の項目について、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を90%以上で維持する。(R7年度実績96%)
- 医療的ケアや多様な障がい、児童の特性および合理的配慮への理解を深め、実践につなげるため、全教職員参加の研修を年2回以上実施し、関連研修を年間計画に位置付けてインクルーシブ教育を推進する。
- 学校の特色の一つである伝統的なマーチングを継続し、発表の機会を工夫して保護者や地域に披露するとともに、児童アンケートの「マーチングを見て、自分もやってみたいと思う」の項目について、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を80%以上で維持する。(R7年度実績

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を、令和8年度から4年間にわたり、1.00以上で維持する。(大阪市目標 1.00/R7年度実績 1.16)
- 児童アンケートの「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできた」の項目について、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を85%以上で維持する。(大阪市目標 85%/R7年度実績 88%)
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに、令和8年度から4年間にわたり、1.00以上で維持する。(大阪市目標 1.00/R7年度実績 1.02)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を90%以上で維持する。(大阪市目標 90%/全国調査 R7年度実績 90%)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること)」が大切だと思う」に対して、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を90%以上で維持する。(大阪市目標 90%/R7年度実績:朝食 86%、規則正しい睡眠 78%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上で維持する。(大阪市目標 80%/R7年度実績 69%)
- 時間外勤務時間が年720時間を超える教員を毎年ゼロにする。
- 教職員の資質向上を図るため、校内研修の年間計画を策定し、それに基づいて年間6回以上の研修を実施する。
- 児童アンケートの「読書がすきだ」の項目について、令和8年度から4年間にわたり、肯定的に回答する児童の割合を75%以上で維持する。(大阪市目標 75%/R7年度実績 83%)
- 学校評価アンケートの「学校はPTA・地域と連携を図っている」の項目について、令和8年度から4年

※前年度不登校であった児童のうち、不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど総合的な判断により、不登校の状態が改善されたとする人数を把握

- 1 出席日数及び出席扱い日数の増加
- 2 ICTの活用等による、本人・保護者と学校がつながる回数の増
- 3 次の不登校支援を受ける回数の増(継続も含む)
(具体的な不登校支援内容について)

【校内】

- A. 養護教諭やスクールカウンセラー等による専門的な指導・相談を受けている。
- B. 校内で通常の教室に入り辛い生徒が学ぶための特別な教室(校内教育支援センター、校内適応指導教室、スペシャルサポートルーム等、保健室や習熟度別学習等で使用する普通教室などの一時的な利用を除く)を設置し、通所している。
- C. 学習動画コンテンツや授業配信等を含むICT等を活用した支援
- D. 区役所の事業を活用した支援

【校外】

- A. 登校支援室「なごみ」への相談
- B. 教育支援センターへの通所
- C. こども相談センターによる支援(教育相談やサテライトへの通所)
- D. 区役所の事業を活用した支援(区で設置する教育支援センターへの通所や登校支援など)
- E. 医療機関への通院
- F. フリースクールや放課後等デイサービス、インターナショナルスクールなどの民間団体・民間施設等への通所

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。（大阪市目標87%/R7年度実績86.3%）
- 毎学期いじめアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応を徹底することで、いじめ解消率100%を目指す。
- 年度末の校内調査において、前年度の不登校児童の改善割合を増加させる。（R7年度18名）
- 児童アンケートの「自分にはよいところがある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。（大阪市目標88%/R7年度実績90%）
- 児童アンケートの「いろいろな場面であいさつをしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（R7年度実績91%）
- 児童アンケートの「すみずみまできれいになるように、そうじをしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（R7年度実績96%）
- 医療的ケアや多様な障がい、児童の特性および合理的配慮への理解を深め、実践につなげるため、全教職員参加の研修を年2回以上実施し、関連研修を年間計画に位置付けてインクルーシブ教育を推進する。
- 学校の特色の一つである伝統的なマーチングを継続し、発表の機会を工夫して保護者や地域に披露するとともに、児童アンケートの「マーチングを見て、自分もやってみたいと思う」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（R7年度実績89%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を1.00以上にする。（大阪市目標1.00/R7年度実績1.16）
- 児童アンケートの「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（大阪市目標85%/R7年度実績88%）
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.01ポイント向上させる。（大阪市目標1.00/R7年度実績1.02）
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。（大阪市目標90%/全国調査R7年度実績90%）
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること）」が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（大阪市目標90%/R7年度実績：朝食86%、規則正しい睡眠78%）

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。（大阪市目標80%/R7年度実績69%）
- 時間外勤務時間が年720時間を超える教員を毎年ゼロにする。
- 教職員の資質向上を図るため、校内研修の年間計画を策定し、それに基づいて年間6回以上の研修を実施する。
- 児童アンケートの「読書がすきだ」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。（大阪市目標75%/R7年度実績83%）
- 学校評価アンケートの「学校はPTA・地域と連携を図っている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立堀川小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(大阪市目標87%/R7年度実績86.3%)</p> <p>○毎学期いじめアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応を徹底することで、いじめ解消率 100%を目指す。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度の不登校児童の改善割合を増加させる。</p> <p>○児童アンケートの「自分にはよいところがある」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。(大阪市目標 88%/R7 年度実績 90%)</p> <p>○児童アンケートの「いろいろな場面であいさつをしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(R7 年度実績 91%)</p> <p>○児童アンケートの「すみずみまできれいになるように、そうじをしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(R7 年度実績 96%)</p> <p>○医療的ケアや多様な障がい、児童の特性および合理的配慮への理解を深め、実践につなげるため、全教職員参加の研修を年 2 回以上実施し、関連研修を年間計画に位置付けてインクルーシブ教育を推進する。</p> <p>○学校の特色の一つである伝統的なマーチングを継続し、発表の機会を工夫して保護者や地域に披露するとともに、児童アンケートの「マーチングを見て、自分もやってみたいと思う」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。(R7 年度実績 89%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1. 安全・安心な教育環境の充実 いじめへの対応】</p> <p>いじめアンケートを実施し、実態を正確に把握する。また、実施後の教育相談の充実を図るとともに、児童の実態に応じて「心の天気」の入力を定着できるようにする。さらに日々の児童の様子を観察し、「心の天気」、「相談機能」などにより、日々の児童の変容を見逃さないようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>いじめアンケートを毎学期(年3回)実施し、実態に応じた指導を行う。また、「心の天気」、「相談機能」なども活用し、気になる児童には指導者は丁寧に聞き取りを行い、いじめの対応を100%にする。</p>	
<p>取組内容②【1. 安全・安心な教育環境の充実 不登校への対応】</p> <p>職員全体で不登校傾向にある児童の共通理解を図る。また、学年打ち合わせや、生活指導部会、わかたけ担任会を中心に学校全体で児童の支援ができる体制を整える。気になる児童のことは児童の記録に詳細に記入しておき、情報の共有と引継ぎが確実に行われるようにする。</p>	
<p>指標</p>	

<p>定期的に生活指導部会をもち、児童の実態を共通理解する。令和8年度末の校内調査で不登校の児童の割合を前年度よりも減少させる。</p>	
<p>取組内容③【1. 安全・安心な教育環境の充実 あいさつ】</p> <p>代表委員会を中心にあいさつ運動やポスターなどによる啓発を行う。教職員が、児童にあいさつの意味や重要性を感じられるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動を学期に1回行う。 ・生活目標にあいさつを定期的に取り上げる。 	
<p>取組内容④【1. 安全・安心な教育環境の充実 校内美化】</p> <p>清掃道具の整備を行い、心を込めた清掃活動ができるようにすることで、美しい学校をつくる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会が各教室へ行き、正しく清掃できているか確認する。出来ていないところを周知し意識して清掃に取り組めるようにする。 ・清掃活動の呼びかけ「ピカピカデー」を月に1回程度設定し、校内放送で全児童に周知することで、学校をきれいに使うことを意識し、校内を美しく保てるようにする。 ・清掃道具を整理整頓し、必要な清掃用具を充実させる。 	
<p>取組内容⑤【2. 豊かな心の育成 インクルーシブ教育の推進】</p> <p>医療的ケアが必要な児童のための校内支援体制を整える。また、発達障がい等の配慮を要する児童の特性や合理的配慮のための支援の方法について共有する。</p>	
<p>指標</p> <p>医療的ケアの研修を年に3回行う。また、特別支援教育や通級に関する研修を年に2回実施する。医療的ケアが必要な児童や配慮を要する児童の状況を共通理解し、必要な支援をするために通常学級担任・特別支援学級担任・通級担任とで連携を深める。</p>	
<p>取組内容⑥【2. 豊かな心の育成 マーチング】</p> <p>学校の特色の一つとして伝統あるマーチングに取り組み、校内・保護者・地域に披露する場を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ・練習の進捗状況を校内・保護者・地域に対して学期に1回以上発信し、取り組みの目的を共有する。 ・活動内容・練習方法・披露する場所を工夫する。 ・6年生では、学年全体で取り組むことの意義を常に考えさせ、取り組みを通して、友だち同士が互いに支えあう共生の心と自己肯定感を育むようにする。 ・1～5年生では、マーチングの鑑賞を通して自身でも取り組んでみたいという気持ちにつなげ、伝統を受け継いでいく気持ちを醸成していく。 ・児童アンケートで、「マーチングを見て、自分もやってみたい（マーチングに取り組んで、自分にとって得たものがある）と思う。」の肯定的回答の割合を80%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【取組内容1】～【取組内容6】</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>【取組内容1】～【取組内容6】</p>	

大阪市立堀川小学校令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。(大阪市目標 1.00 / R7 年度実績 1.16)</p> <p>○児童アンケートの「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(大阪市目標 85% / R7 年度実績 88%)</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.01 ポイント向上させる。(大阪市目標 1.00 / R7 年度実績 1.02)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(大阪市目標 90% / 全国調査 R7 年度実績 90%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(大阪市目標 90% / R7 年度実績: 朝食 86%、規則正しい睡眠 78%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【4. 誰一人取り残さない学力の向上 主体的・対話的で深い学び】</p> <p>教科・領域の指導において、子どもにつけさせたい力を明確にした指導を計画し、全学年で授業研究に取り組み実践していく。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科の授業研究(一人一授業含む)において、“単元を通して、子どもにどのような力をつけさせたいか”という視点を持ち、授業を実施する。また、授業研究(授業)後に、参観者のコメントシートをやり取りすることで、授業力を高める。 前年度の学力経年調査の結果を踏まえ、平均正答率が低かった単元を把握し、重点的に指導する。また、それらの単元を学校全体で共有することで、児童がつまづきがちなポイントを把握し指導に生かす。 児童アンケートの「話し合い活動を通して、すすんで学習に取り組むことができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。 	
<p>取組内容② 【5. 健やかな体の育成 体力・運動能力向上】</p> <p>本校児童の体力・運動能力に合った体育的な取り組みを通して、体を動かすことが楽しいと感じる児童を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・どの子どもも体を動かすことに充実感(できた、やってみよう)がもてるような体育科の授業を展開するために、年間計画の有効活用と児童の実態にあった場と人数の工夫をする。 ・運動委員会を中心に学期に1回程度、体育的な取り組みをする。 	
<p>取組内容③【5. 健やかな体の育成 体力・健康教育・食育の推進】 基本的な生活習慣を身につける。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回、保健指導・栄養指導をする。 ・年1回、学校保健委員会をする。 ・学期に1回、残食しらべをする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【取組内容1】～【取組内容3】</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p>【取組内容1】～【取組内容3】</p>	

大阪市立堀川小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。(大阪市目標80%/R7年度実績69%)</p> <p>○時間外勤務時間が年720時間を超える教員を毎年ゼロにする。</p> <p>○教職員の資質向上を図るため、校内研修の年間計画を策定し、それに基づいて年間6回以上の研修を実施する。</p> <p>○児童アンケートの「読書がすきだ」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(大阪市目標75%/R7年度実績83%)</p> <p>○学校評価アンケートの「学校はPTA・地域と連携を図っている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を70%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6. 教育DXの推進 ICTを活用した教育】</p> <p>スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートで児童の心の状態や日々の状況を可視化し、児童の理解を深めることができるように学習者端末を活用する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階や学習場面等に合わせて、学習者用端末やデジタル教材を有効的に活用する。 ICT 機器を活用したプレゼンテーションスキルの向上のために、学年に応じて各教科の中で学習者用端末等を使ったプレゼンテーションをする機会を設定する。 スマートスクール次世代学校支援事業で導入されている心の天気やいじめアンケートで児童の心の状態や日々の状況を可視化できるように、学習者用端末を活用する。 プチ研修会を開き、ICT 機器の活用の方法を広げる。 	
<p>取組内容②【7. 人材の確保・育成 働き方改革】</p> <p>教員が子どもたちの前で健康で生き生きと働くことができ、子どもたち一人一人に向き合う時間を確保することができる環境づくりに努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとりの日を週1回設定し、設定した日は退勤時間を延長せず、退勤時刻を遵守できるようにする。 ICT を活用して児童・保護者へのアンケートを行い、実務の効率化をはかる。そのために Teams や Forms など、転任者や新任、希望者を対象に操作方法の研修を定期的実施する。 行事や校務の見直しをはかる。 <ul style="list-style-type: none"> ➡ 集金方法 (現金徴収から口座振り込み) ➡ 校務分掌 (分担: 教科書担当 (低・中・高) 3名) 	

にするなど)	
取組内容③【7. 人材の確保・育成 教員の資質向上・人材の確保】 実践的指導力の向上、知識・技能を習得するために積極的に研修に参加する。また、研修等に参加しやすい環境を整える。	
指標 ・校内で資質向上のための年間計画をたて、それに基づき研修に努める。 ・月に1度、若手教員研修を設定し、若手がより学びやすい環境を整える。	
取組内容④【8. 生涯学習の支援 学校図書館の活性化】 図書室の整備をはじめ、学級文庫の充実、読書スペースの整備、市立図書館の団体利用などを進め、読書環境の整備に努める。	
指標 ・読書環境の整備状況を定期的に点検する。 ・学級文庫の本を学期ごとに交換する。 ・読書ボランティアの活躍の場と交流の場を設定する。 ・図書委員会の活動を通して、児童の読書意欲を高める。 ・図書スペースを有効的に活用することで、読書活動の活性化を図る。	
取組内容⑤【9. 家庭・地域等と連携・協働 地域学校協議活動の推進】 学校だよりやホームページを通して積極的に情報発信を行う。また、登下校の見守り活動、読書活動支援、地域との交流行事など、学校・地域・家庭の連携による取り組みを推進していく。	
指標 ・各学年の児童の様子について、ホームページを通じて週1回以上発信し、計画的に保護者や地域へ周知する。 ・登下校の見守り活動や読書活動支援、地域との交流行事などを通して、地域と学校のつながりについて理解を深める機会を設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
【取組内容1】～【取組内容5】	
次年度への改善点	
【取組内容1】～【取組内容5】	